

2022年度第1四半期 決算説明

2022年5月12日

株式会社クラレ

[億円]

	2022年度1Q	2021年度1Q	増減
売上高	1,676	1,444	232
営業利益	221	168	54
経常利益	223	163	60
親会社株主に帰属する 四半期純利益	127	53	74

参考

円／ドル (平均)	116	106
円／ユーロ (平均)	130	128
国産ナフサ 千円／kl	63	36

セグメント別売上高・営業利益

[億円]

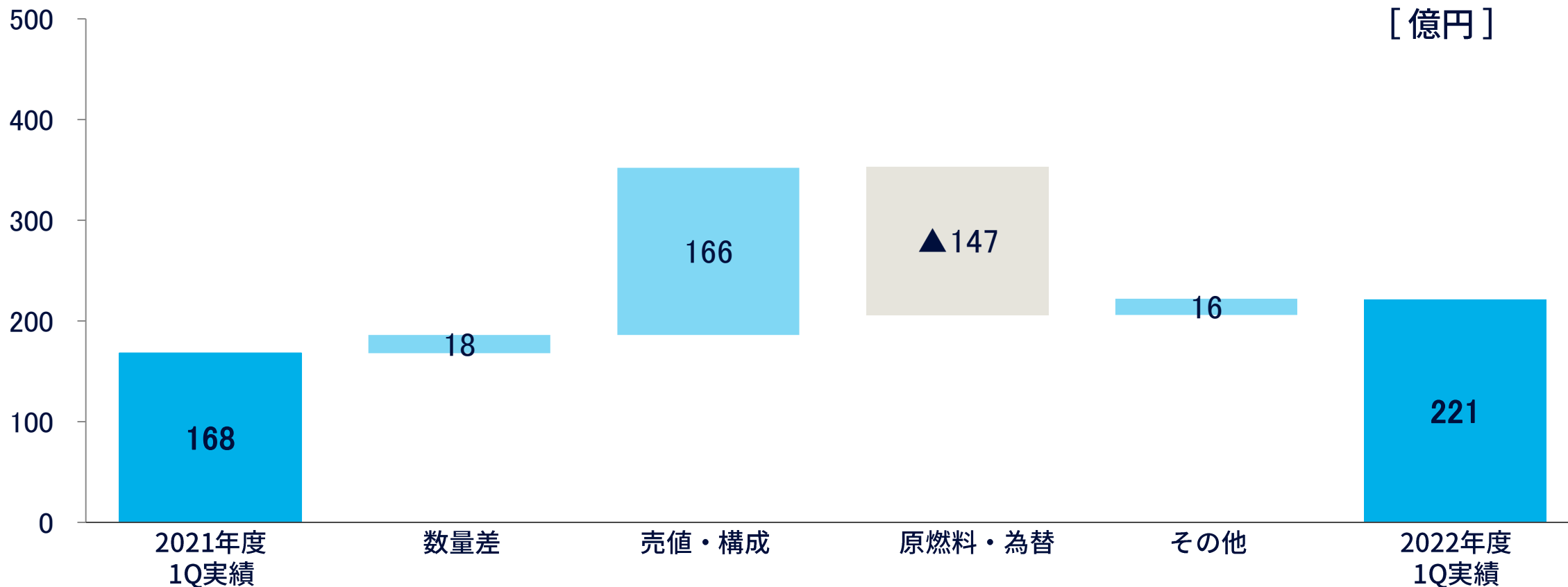
	2022年度1Q実績		2021年度1Q実績		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	862	172	722	135	140	38
イソプレ [®]	154	27	149	30	5	▲3
機能材料	380	22	309	10	71	12
繊維	144	16	137	6	7	11
トレーディング [®]	140	13	330	11	▲190	2
その他	107	4	96	▲0	11	4
調整額	▲110	▲33	▲299	▲23	189	▲10
合計	1,676	221	1,444	168	232	54

※ 2022年度より、以下の会計基準の適用、セグメント区分の変更などがあります。

- ・「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等の適用。(2022年度のみ適用)
- ・一部の内部取引利益の消去について、各セグメント及び全社への配分方法の変更。(2021年度、2022年度とも変更)
- ・アクア事業のセグメント区分を「その他」から「機能材料」に変更。(2021年度、2022年度とも変更)

トレーディングセグメント及び調整額の2022年度1Q売上高が2021年度1Qに比べ大きく変動していますが、これは主に、トレーディングセグメントにおける代理人取引の売上高の計上額について、「収益認識に関する会計基準」等の適用により、取引総額から純額へと変更することによるものです。

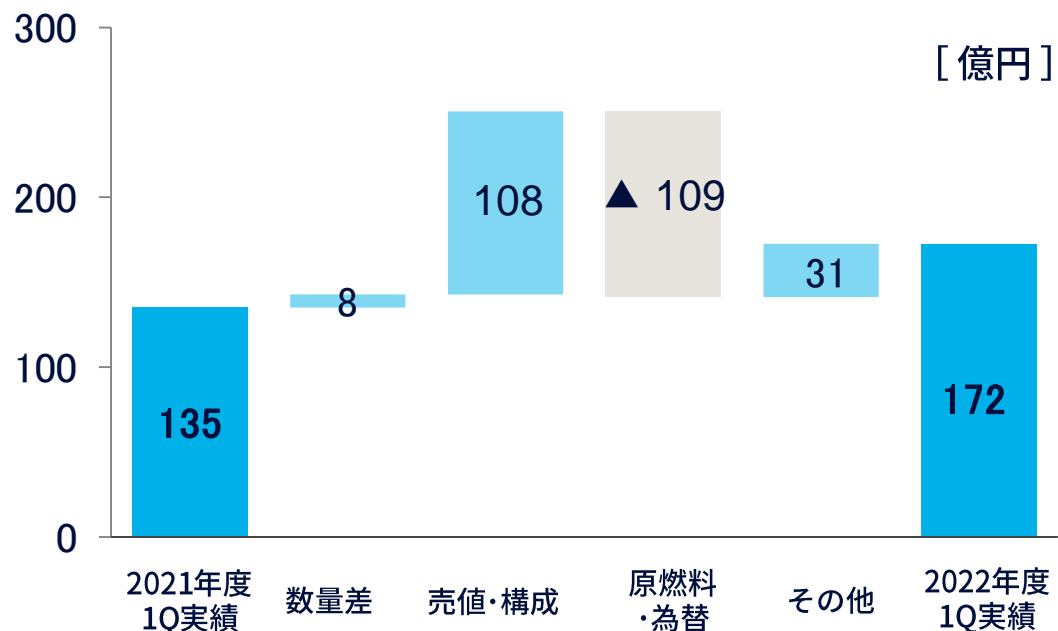
2022年度1Q営業利益増減分析



	2021年度1Q実績	2022年度1Q実績
円／ドル (平均)	106	116
円／ユーロ (平均)	128	130
国産ナフサ 千円／kl	36	63

[億円]

	2021年度 1Q実績	2022年度 1Q実績	増減
売上高	722	862	140
営業利益	135	172	38



ポバール樹脂	米国子会社の一部生産設備停止の影響を受け販売量が減少。
光学用ポバールフィルム	需要は堅調で前年同四半期並みの出荷。テレビパネルサイズ大型化のニーズに対応するため、倉敷事業所での設備投資（2024年央稼働予定）を決定。
水溶性ポバールフィルム	洗濯用及び食洗器用個包装洗剤向けの販売が拡大。
高機能中間膜	PVBフィルムで自動車生産減の影響を受け販売量が減少。
<エバール>	自動車生産減の影響を受けたものの、食品用途を中心に需要は堅調に推移。

主な増減要因	原燃料の高騰、物流費の上昇を価格交渉の進展による増益でカバー。物流費は増加したものの、在庫受払差によりその他は増益。
--------	--

[億円]

	2021年度 1Q実績	2022年度 1Q実績	増減
売上高	149	154	5
営業利益	30	27	▲3

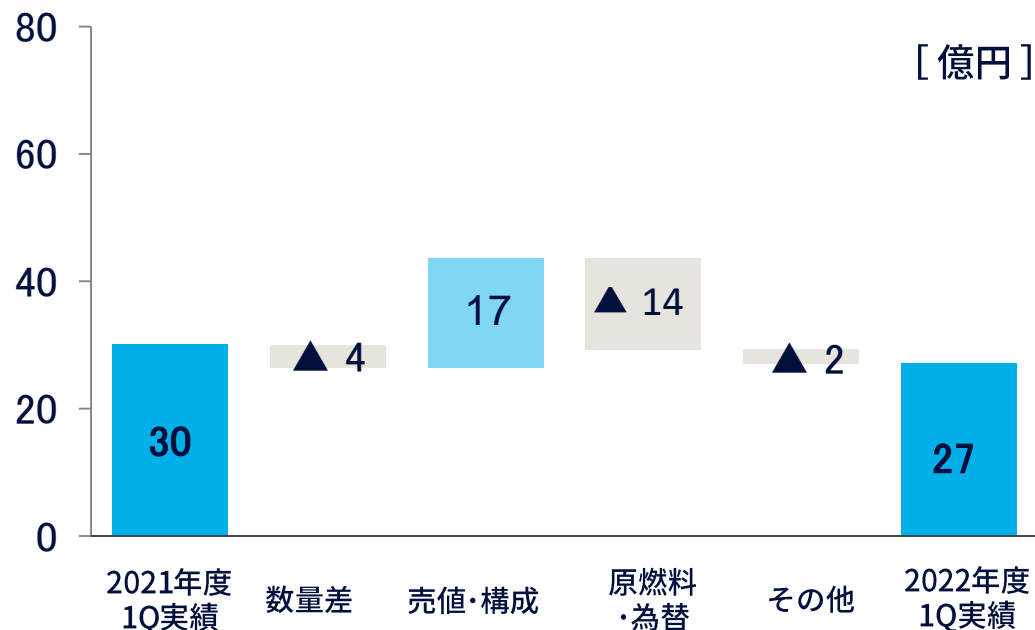
↑↑↑ レジナル、
エラストマー

需要は堅調だったものの、一時的な原料調達難の影響を受け販売量が減少。

<ジェネスタ>

自動車向けは堅調に推移したものの、電気・電子デバイス向けは物流混乱などの影響を受け販売量が減少。

[億円]

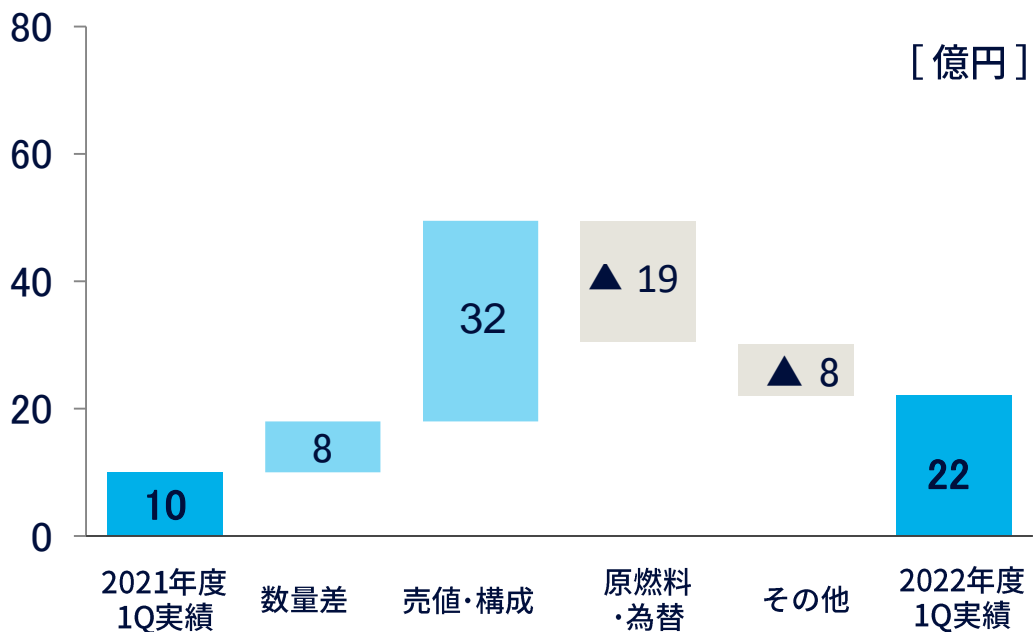


主な増減要因

原燃料の高騰、物流費の上昇を価格交渉の進展による増益でカバー。

[億円]

	2021年度 1Q実績	2022年度 1Q実績	増減
売上高	309	380	71
営業利益	10	22	12



メタクリル	需要は堅調だったものの、一時的な原料調達難の影響を受け販売量が減少。
メディカル	欧米を中心に歯科材料の需要が旺盛で、販売が拡大。
環境ソリューション	欧州を中心に需要が増え、活性炭の販売が堅調に推移。
アクア	中空糸水処理膜の需要が堅調に推移。

主な増減要因	昨年度の原燃料上昇分も含めて価格交渉を進展させ、原燃料の高騰、物流費の上昇をカバー。
--------	--

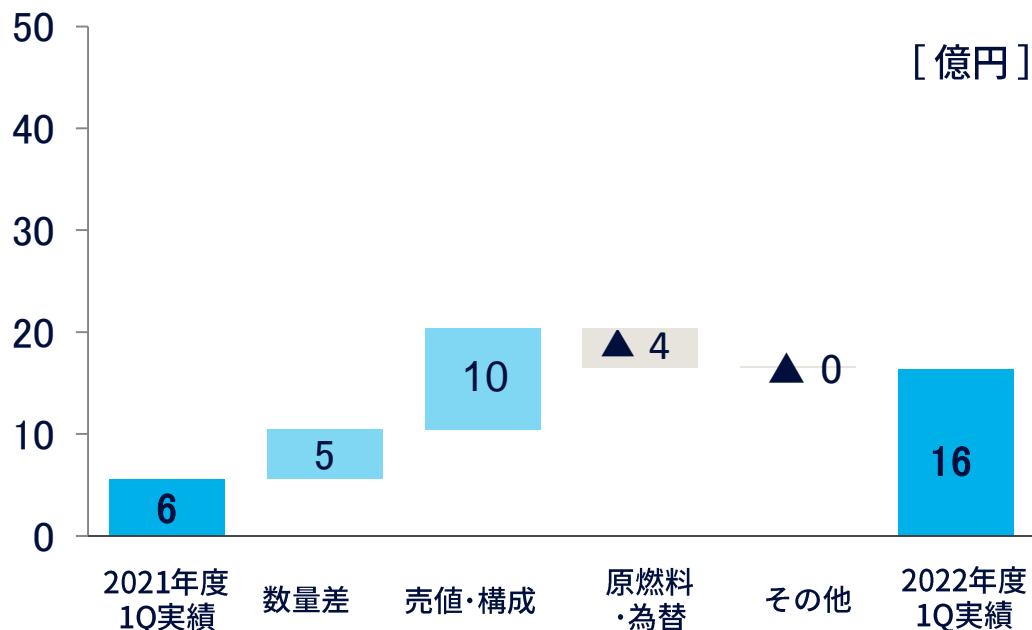
[億円]

	2021年度 1Q実績	2022年度 1Q実績	増減
売上高	137	144	7
営業利益	6	16	11

<クラリーノ>	スポーツ用途やラグジュアリー用途を中心に販売が堅調に推移。
繊維資材	ビニロンは自動車生産減の影響を受けたが、<ベクトラン>は輸出を中心に販売が堅調に推移。
生活資材	<クラフレックス>で外食産業の需要が低調。

主な増減要因	原燃料の高騰、物流費の上昇を価格交渉の進展などによる増益でカバー。
--------	-----------------------------------

[億円]



[億円]

	2022年3月末	2021年12月末	増減
流動資産	4,809	4,702	107
固定資産	6,491	6,208	283
資産合計	11,300	10,910	390

	2022年3月末	2021年12月末
円／ドル (期末)	122	115
円／ユーロ (期末)	137	131

貸借対照表②(負債と純資産の部)

[億円]

	2022年3月末	2021年12月末	増減
流動負債	2,386	2,195	192
固定負債	2,839	2,919	▲80
負債合計	5,225	5,114	111
純資産合計	6,075	5,796	279
負債・純資産合計	11,300	10,910	390
自己資本比率	52.0%	51.3%	0.7%
	2022年3月末	2021年12月末	
円／ドル (期末)	122	115	
円／ユーロ (期末)	137	131	

2022年度 通期業績予想（期初予想との比較）

[億円]

	2022年度 今回修正予想			2022年度 期初予想			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	3,500	3,300	6,800	3,200	3,300	6,500	300	0	300
営業利益	380	400	780	330	400	730	50	0	50
経常利益	370	380	750	310	380	690	60	0	60
親会社株主に 帰属する当期純利益	220	230	450	200	230	430	20	0	20

<参考>

円／ドル（平均）	120	110
円／ユーロ（平均）	130	130
国産ナフサ 千円／kl	71	58

【参考】2022年度 通期業績予想（前年実績との比較）

[億円]

	2022年度 今回修正予想			2021年度 実績			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	3,500	3,300	6,800	3,023	3,271	6,294	477	29	506
営業利益	380	400	780	304	419	723	76	▲19	57
経常利益	370	380	750	285	403	688	85	▲23	62
親会社株主に 帰属する当期純利益	220	230	450	117	256	373	103	▲26	77

<参考>

円／ドル（平均）	120	108	110
円／ユーロ（平均）	130	130	130
国産ナフサ 千円／kl	71	41	48

【参考】セグメント別売上高・営業利益予想（期初予想との比較）

[億円]

	2022年度今回修正予想		2022年度期初予想		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	3,420	655	3,200	620	220	35
イソプレン	650	65	650	65	0	0
機能材料	1,500	85	1,450	90	50	▲5
繊維	620	40	600	30	20	10
トレーディング	590	51	580	50	10	1
その他	440	15	440	10	0	5
調整額	▲420	▲131	▲420	▲135	0	4
合計	6,800	780	6,500	730	300	50

【参考】セグメント別売上高・営業利益予想（前年実績との比較）

[億円]

	2022年度今回修正予想		2021年度実績		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	3,420	655	3,047	583	373	72
イソプレン	650	65	619	61	31	4
機能材料	1,500	85	1,424	87	76	▲2
繊維	620	40	611	56	9	▲16
トレーディング	590	51	1,440	48	▲850	3
その他	440	15	443	12	▲3	3
調整額	▲420	▲131	▲1,291	▲124	871	▲7
合計	6,800	780	6,294	723	506	57

2022年度より、以下の会計基準の適用、セグメント区分の変更などがあります。

- ・「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等の適用。(2022年度のみ適用)
- ・一部の内部取引利益の消去について、各セグメント及び全社への配分方法の変更。(2021年度、2022年度とも変更)
- ・アクア事業のセグメント区分を「その他」から「機能材料」に変更。(2021年度、2022年度とも変更)

トレーディングセグメント及び調整額の2022年度1Q売上高が2021年度1Qに比べ大きく変動していますが、これは主に、トレーディングセグメントにおける代理人取引の売上高の計上額について、「収益認識に関する会計基準」等の適用により、取引総額から純額へと変更することによるものです。

【参考】セグメント別 四半期売上高推移

[億円]

	2021年度					2022年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q(予想)	上期(予想)
ビニルアセテート	722	763	764	798	3,047	862	918	1,780
イソプレソ	149	156	150	165	619	154	166	320
機能材料	309	352	358	405	1,424	380	390	770
繊維	137	162	149	163	611	144	166	310
トレーディング	330	362	362	387	1,440	140	150	290
その他	96	107	113	127	443	107	113	220
調整額	▲299	▲322	▲327	▲343	▲1,291	▲110	▲80	▲190
合計	1,444	1,579	1,569	1,702	6,294	1,676	1,824	3,500

2022年度より、以下の会計基準の適用、セグメント区分の変更などがあります。

- ・「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等の適用。(2022年度のみ適用)
- ・一部の内部取引利益の消去について、各セグメント及び全社への配分方法の変更。(2021年度、2022年度とも変更)
- ・アクア事業のセグメント区分を「その他」から「機能材料」に変更。(2021年度、2022年度とも変更)

トレーディングセグメント及び調整額の2022年度1Q売上高が2021年度1Qに比べ大きく変動していますが、これは主に、トレーディングセグメントにおける代理人取引の売上高の計上額について、「収益認識に関する会計基準」等の適用により、取引総額から純額へと変更することによるものです。

【参考】セグメント別 四半期営業利益推移

[億円]

	2021年度					2022年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q(予想)	上期(予想)
ビニルアセテート	135	117	186	145	583	172	148	320
イソプレソ	30	3	18	10	61	27	▲2	25
機能材料	10	20	25	33	87	22	13	35
繊維	6	17	24	10	56	16	9	25
トレーディング	11	12	12	13	48	13	12	25
その他	▲0	3	7	2	12	4	6	10
調整額	▲23	▲36	▲32	▲33	▲124	▲33	▲27	▲60
合計	168	136	239	179	723	221	159	380

2022年度より、以下の会計基準の適用、セグメント区分の変更などがあります。

- ・「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等の適用。(2022年度のみ適用)
- ・一部の内部取引利益の消去について、各セグメント及び全社への配分方法の変更。(2021年度、2022年度とも変更)
- ・アクア事業のセグメント区分を「その他」から「機能材料」に変更。(2021年度、2022年度とも変更)

トレーディングセグメント及び調整額の2022年度1Q売上高が2021年度1Qに比べ大きく変動していますが、これは主に、トレーディングセグメントにおける代理人取引の売上高の計上額について、「収益認識に関する会計基準」等の適用により、取引総額から純額へと変更することによるものです。

kuraray

-
- 金額表示は億円未満四捨五入にしております。
 - 本資料中の業績予想、見通し及び事業計画についての記載は、将来の事業環境・経済状況等に関する現時点での仮定・推測に基づいています。実際の業績は、これと異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。
 - 本資料中の〈 〉表記は、クラレグループ製品の登録商標です。